

「取扱説明書」

この度は、タカラトミー「トランスフォーマー MPG-18 サイバトロン/輸送・資源探査員 ロードホーラー」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書(本書)をよくお読みください。また、読み終わった後は必ず保管しておいてください。

※写真及びイラストは、商品と異なる場合があります。

注意(ちゅうい)

●この商品は対象年齢15才以上です。小さなお子様には絶対に与えないでください。●小さな部品があります。誤って飲み込むなど思わぬ事故の危険がありますので小さなお子様には絶対に与えないでください。●尖っている部品があります。取り扱いには十分注意してください。●付属の武器で人をつつく、たたく等の乱暴な遊びをしないでください。●ロボットの関節などに指をはさまないようにご注意ください。●ぶついたり、振り回すなどの乱暴な遊びをしないでください。●可動部のスキマには指などを入れないでください。はさまれてケガをする恐れがあります。●プラスチック袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。●不測の事故の恐れがありますので、ご使用後は3才未満のお子様手の届かないところに保管してください。

〈使用上の注意〉○ご使用前に「取扱説明書(本書)」をよくお読みください。また読み終わった後は必ず保管しておいてください。○各パーツは無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。○本体を上から押し付けないでください。本体が倒れたり、部品が外れたりする場合があります。○本体をディスプレイする時は、本体が倒れる恐れがありますので不安定な場所にディスプレイしたり、安定性の悪いポーズでディスプレイしないでください。○本体を持ち運ぶ際は取り付けた部品等を持たず、本体をしっかりと持って運んでください。○製品の仕様上、変形の動作を行うと彩色部が剥かれたり、色移りする場合があります。また変形時や部品のつけ外しの際に部品が白くなる事があります。予めご了承ください。○本製品を樹脂製の家具等の上に長時間置くと色が変わったり、貼り付いたりする場合があります。○包装材は開封後すぐに捨ててください。

対象年齢 15才以上

TAKARA TOMY

大人向け商品です。玩具ではありません。
Model for adult collectors. This is not a toy.

※セット内容以外は別売りです。

株式会社 タカラトミー

〒124-8511 東京都葛飾区立石 7-9-10

製品のお買い上げ時期によって同一製品の中にも多少異なるものや、パッケージの写真やイラストなどと異なる場合がございますがご了承ください。製品につきましては、万全の注意をはらって製造に当たっておりますが、万一お気付きの点がございましたら下記までご連絡ください。

タカラトミーグループ お客様相談室 おかけ間違いのないようご注意ください

0570-041031 電話受付時間 10~17時
月曜日~金曜日(土日・祝日を除く) (タカラトミーサポート) 検索

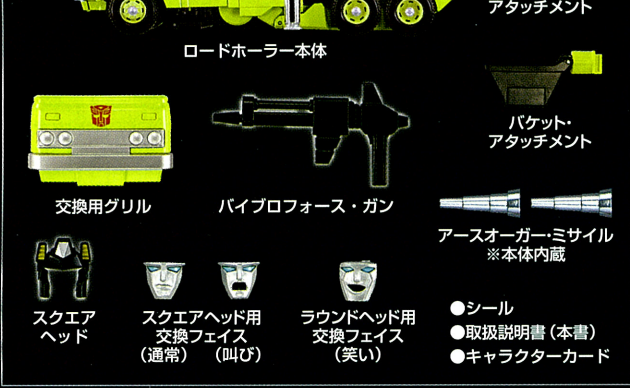
本製品のお客様サポートは日本国内でのご購入かつ日本国内からのお問い合わせに限ります。

(Customer service is only available in case this product purchased in Japan and inquired from Japan domestic.)

●お問い合わせの情報はインターネットで www.takaratomy.co.jp

©TOMY

CONTENTS



ロードホーラー キャラクター解説

●役割: 輸送・資源探査員
●座右の銘: 「俺は約束を破らない。ただちょっと脚色するかも」
●プロフィール
ロードホーラーは様々な外観といくつもの名前を持つロボットだ。ある時は繊細なロードホーラー(Load Hauler)、ホーラーボット、メガホーラーなど、他人と名前が被ることも構いなしに自称を変える。装備や体色などは、尚の事ひんぱんに変えては戻す。彼は案外移り気で、その日の気分を表に出さずにはいられない自己表現者なのだ。彼は数百万年前、サイバトロンとデストロンが惑星を二分する以前、建設車両型ロボットのグループ<ビルドロン>の一員として、様々な都市計画やインフラ整備に尽力した。しかしある時、クリスタルシティのメンテナンスに赴いた6人の仲間がデストロンの首領・メガトロンの襲撃を受け、洗脳装置<ロボスマッシャー>の餌食となった事件を皮切りに、彼らのグループは前線の一途を突き進んだ。残る仲間もデストロンに取り込まれ、全てを失ったホーラーは、いつしかサイバトロンと合流し彼らの一員となった。宇宙船・アークの乗員として400万年の眠りから醒めてからは、地球や他の惑星のエネルギー資源を探索し記録する使命を受け、もっぱら単独で任務にあたっている。ロボット形態では振動兵器パイプロフォース・ガンを携行し、アースオーガー・ミサイルを潜行して標的を破壊する他、探査や救助目的にも使用可能。ビークル形態では60トンの物体を釣り上げる起重装置が使用でき、また天然資源の調査機器も備える。緑色の建機型ロボットは、古くはクインテッサ皇人の民生用産業ロボットに端を発するとされ、伝説によればその一派は、かのメガトロンの身体を造ったとも云われている。<クルゴ師団>や<クラフター・アソートメント>といった、諸説で伝わるその祖先達は、ある者は誇りどころか、ホーラーにとっては重い十字架だ。気まぐれな彼の心にも不変のものがあるとしたら、それはいつか最強の、正義の戦士を造ってみたいという願いだろう。



VEHICLE MODE



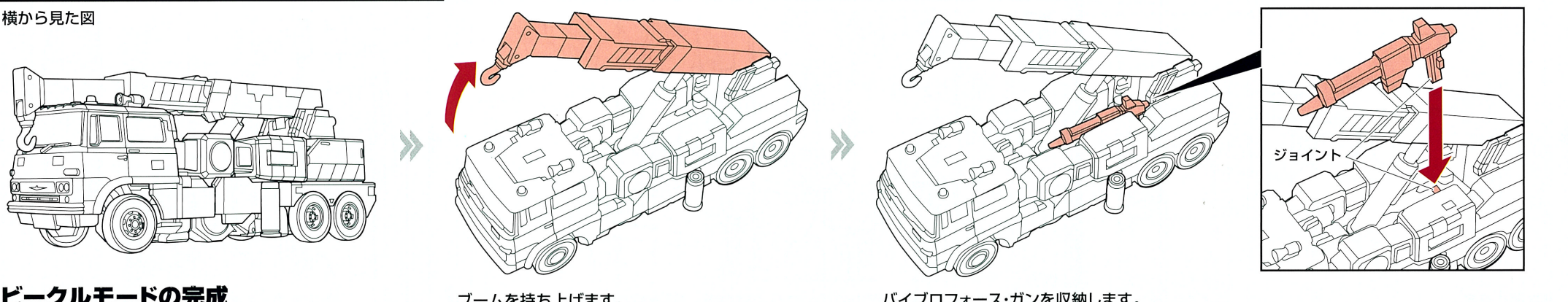
幻想的な光のトンネルの中を、1台のクレーン車・三菱ふそう T951が疾走する。ロードホーラーは宇宙を渡るスペースブリッジの中で、先日請け負った建設作業の概要図を吟味していた。そのプランは何かがおかしく、そして現場に到着すると、彼は間違いを痛感した。建設予定地である小惑星に集まった建機型ロボットは殆どがデストロンで、その中心には6人のビルドロンがいた。ホーラーは突如として、敵のただ中に飛び込んでしまったのだ! 「見覚えのある顔だ」と、ロングハウルが彼に目をつけ、詰め寄った。「サイバトロン落ちた裏切り者がいたな。『ショートハウル』だったか?」「悪くない呼び名だ。いつか使おう」緊迫する二人を、スカベンジャーが止めた。「よしなよ、ここは非戦エリアだろ?せつかくの再会だ、また一緒に働こうぜ!」この建設プランは、とある非武装宇宙域に浮かぶ小惑星に、巨大な音楽シアターを建てるものだ。それはたった一度の公演のために、120万人もの有機生命体を収容する施設という、只ならぬ発注だった。「これはお前たちデストロンの悪巧みじゃないのか?」と疑うホーラーに、スカベンジャーは口ごもる。「俺達にもよく分からん…あんたも<マルブア>とかいう会社の求人で請けたらどう?他にも色々来てぞ。グレイブディガーにターゲットバック、ハイタワー…懐かしいな。大勢だった頃のビルドロンを思い出すよ」こうして作業にかかったロボット達は、鮮やかな手際で数日の内に施設の80%を完成させた。残りを「小さい工員」たちに引き継ぎ、現地解散の運びとなった所で、スクラッパーが皆を制止した。「悪いが俺たちに新たな指令が下った。デストロン以外のロボットを逃すな、とな」やはりそう来たか、とホーラーは身構えた。「と言っても、コンサートが終わるまでの間だ。ここは非戦地帯だし、ついてはお前らに提案がある… どうだ、俺達と合体しないか?」「なんだと!?!」ざわつく中、グレンが続けた。「<G2技術>のおかげで、色々自由がきくようになってな。デバスターの増強合体を試すには、今が絶好の機会さ。取りあえずは8体追加だ!勝手な事を、と呆れるホーラーだが、とても逃げられそうにはない。彼はあらかじめメッセージを飛ばせ地中に埋めたアースオーガー・ミサイルを起動し、スペースブリッジに向かわせると、両手を挙げて降参した。「俺を混ぜて、後悔するなよ?」

CRANE GIMMICK



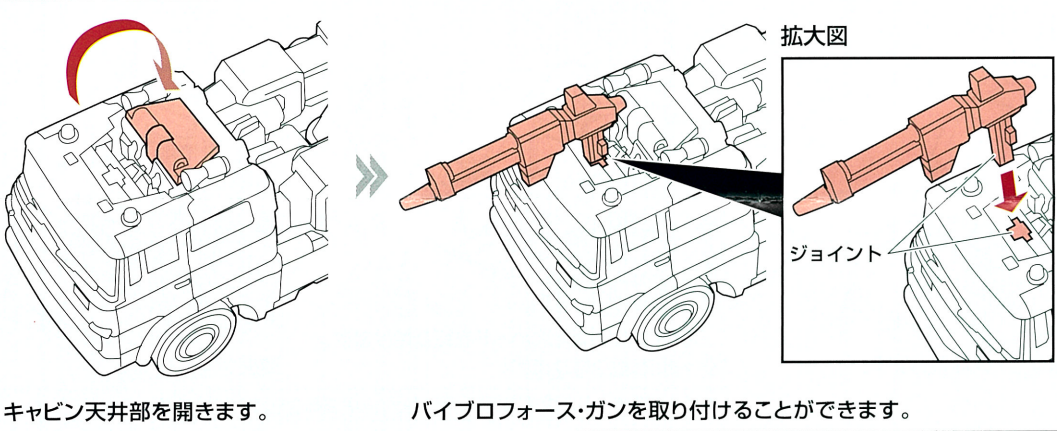
パイプロフォース・ガンの収納(ビークルモード)

上から見た図



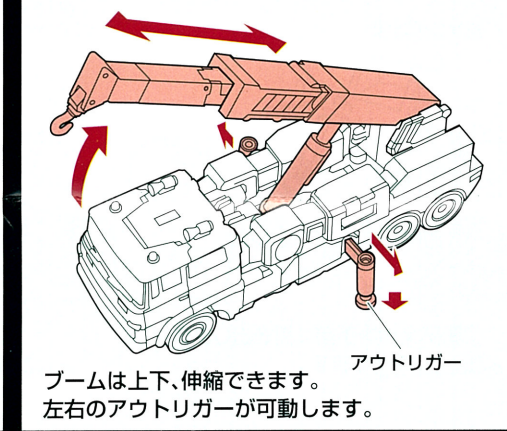
パイプロフォース・ガンの装備(ビークルモード)

上から見た図



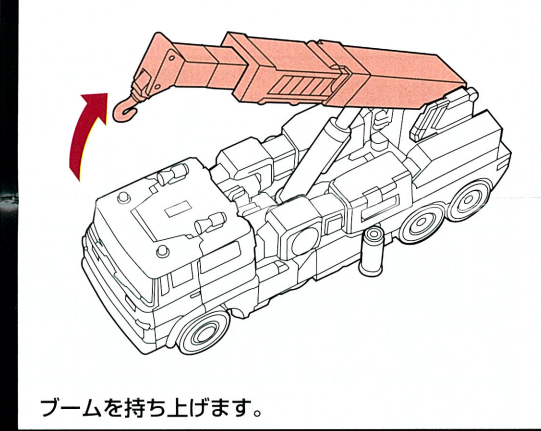
ブームとアウトリガーの可動

上から見た図



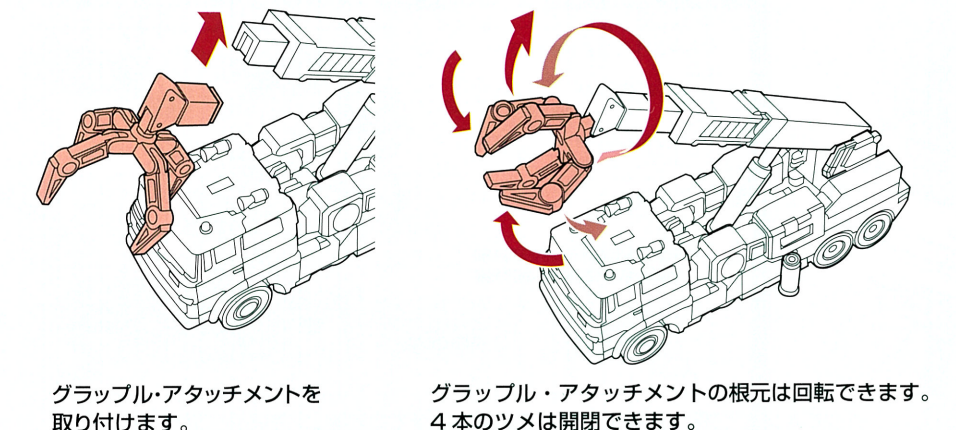
アタッチメントの取り付け方

上から見た図



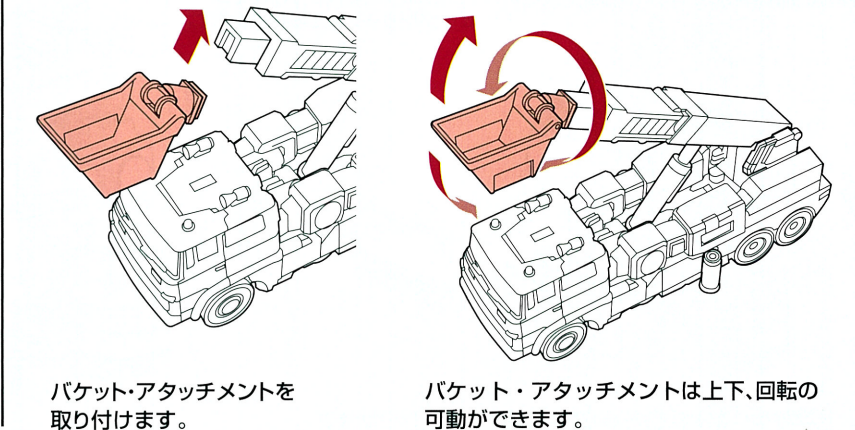
グラッブル・アタッチメントの可動

上から見た図



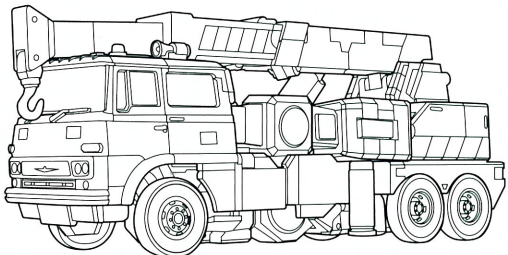
バケット・アタッチメントの可動

上から見た図



ロボットモードへの変形 横から見た図

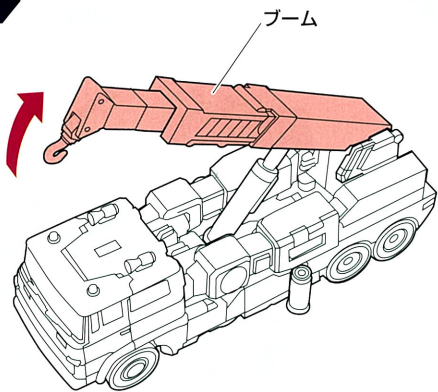
ビークルモード



※武器は取り外した状態で変形を始めます。
※グラブ・アタッチメントやバケット・アタッチメントでは変形できませんので必ずフックの状態に変形させてください。

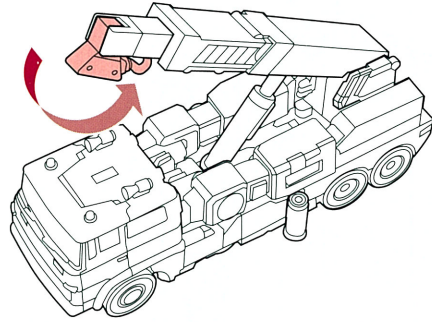
トランスフォームスタート!!

01 上から見た図



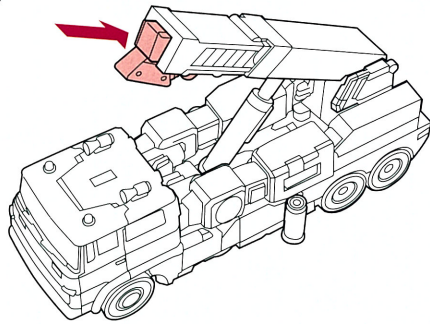
ブームを持ち上げます。

02



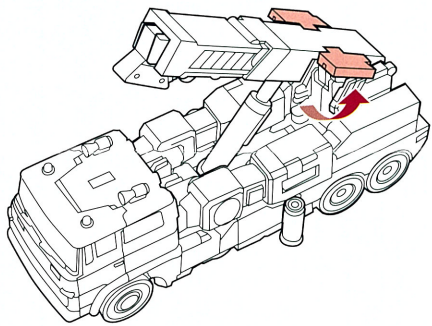
フックを倒します。

03



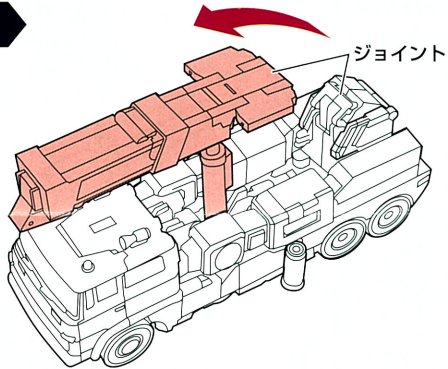
※必ず図の位置まで完全に収納してください。
完全に収納しないと、変形時に破損の恐れがあります。
ブームを図の位置まで縮めます。

04



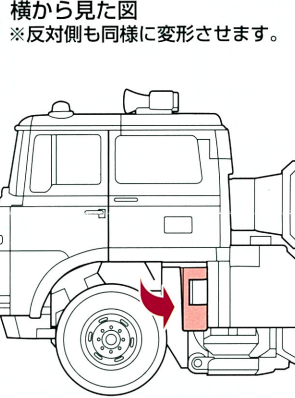
図パーツを開きます。

05



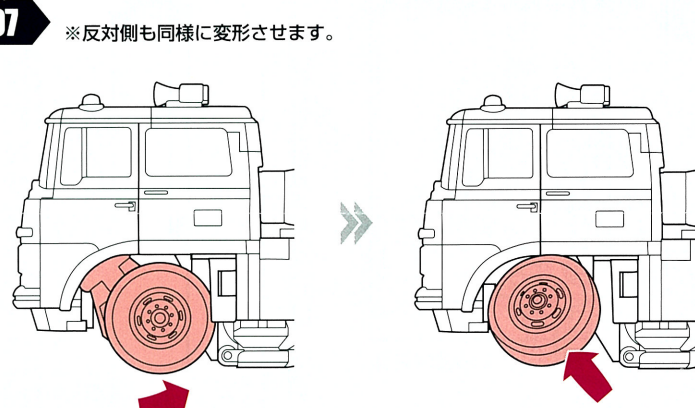
※先端部はシリンダーで車体と繋がったままですので、無理な力を加えて破損しないよう注意してください。
ジョイントを外し、ブームを持ち上げます。

06



サイドパネルを内側へ90°倒します。

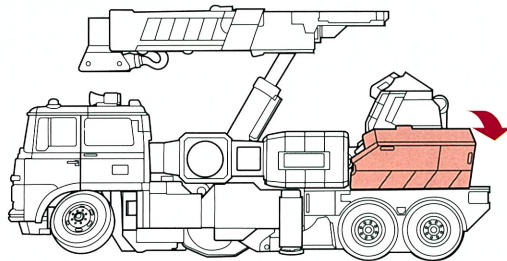
07



※反対側も同様に变形させます。
前輪を後ろに移動させ、外側へ開きます。

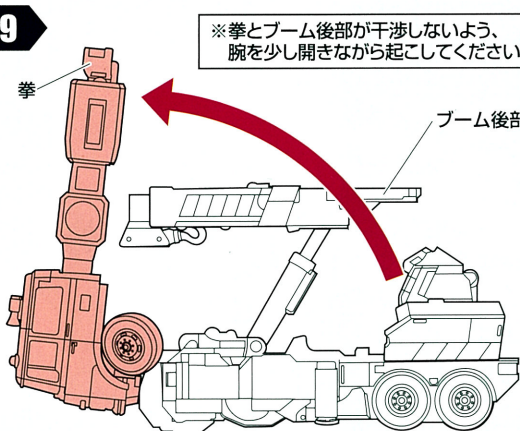
08

※反対側も同様に变形させます。



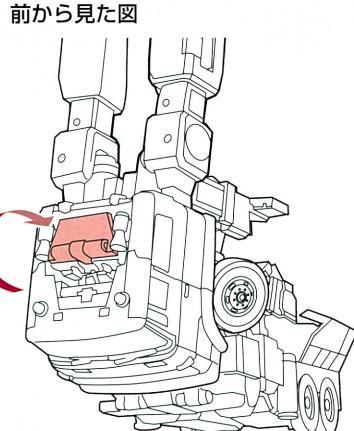
図のパーツを開きます。

09



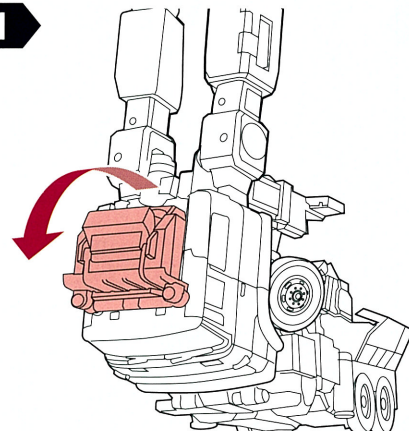
図のパーツを起こします。

10



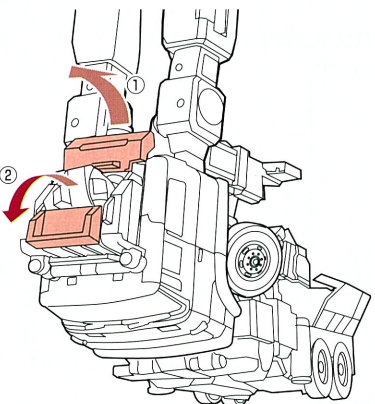
前から見た図
図のパーツを開きます。

11



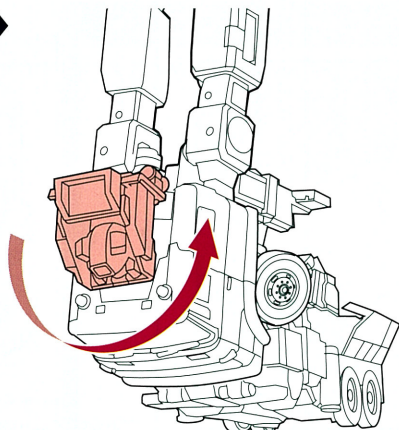
図のパーツを起こします。

12



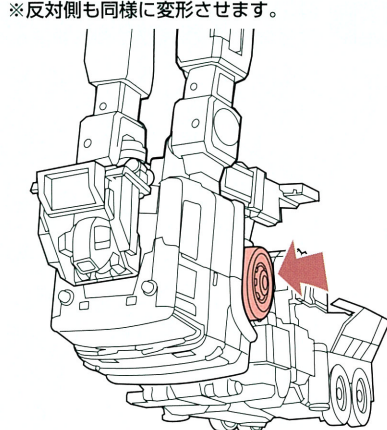
①図のパーツを引き出します。
②図のパーツを開きます。

13



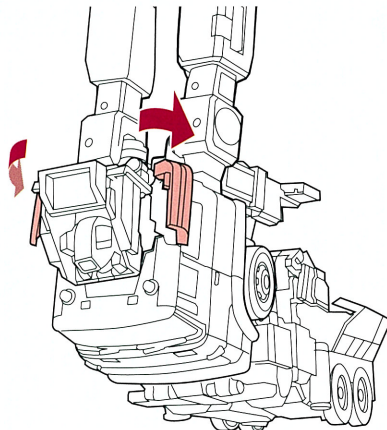
図のパーツを180°回転させます。

14



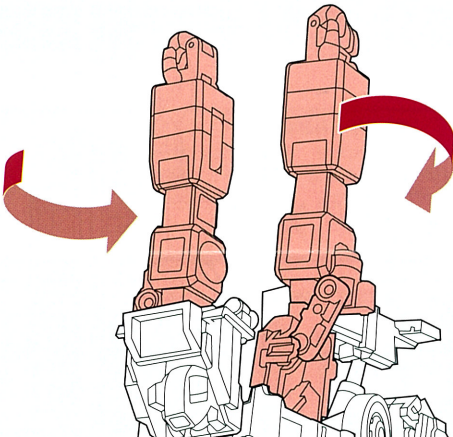
※反対側も同様に变形させます。
前輪を内側に閉じ、前側へ移動させます。

15



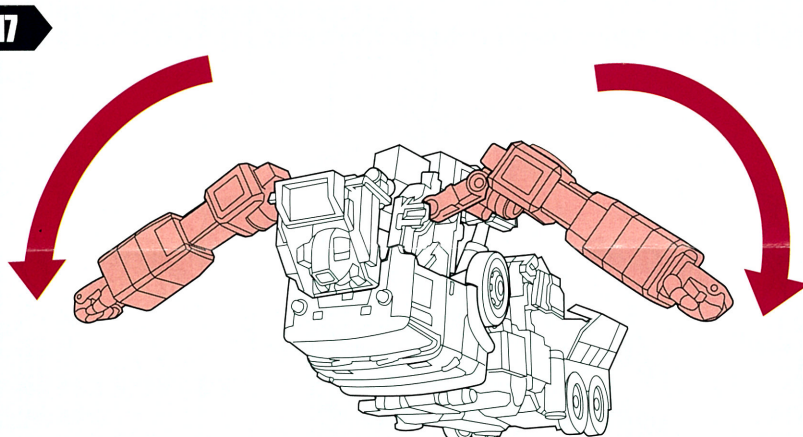
図のパーツを開きます。

16



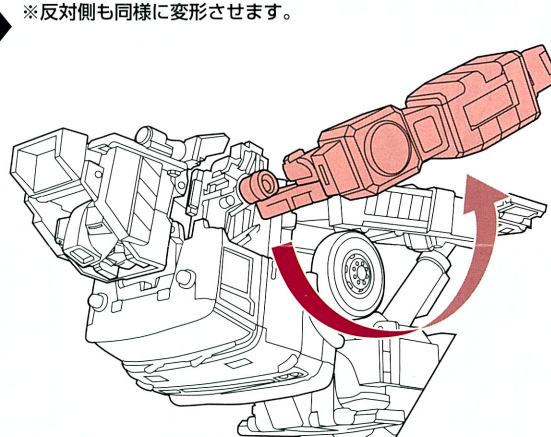
腕部を180°回転させます。

17



腕部を左右に開きます。

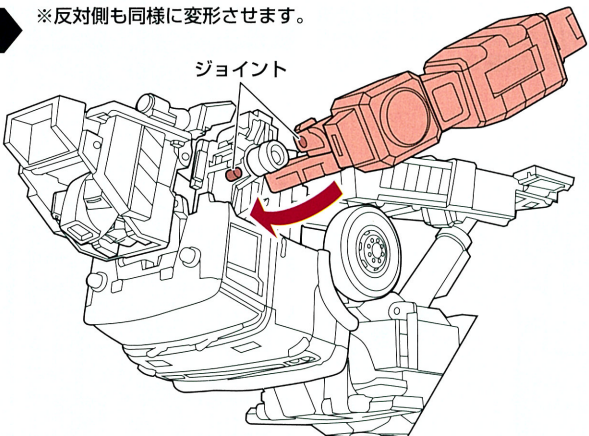
18



※反対側も同様に变形させます。
腕部を回転させます。

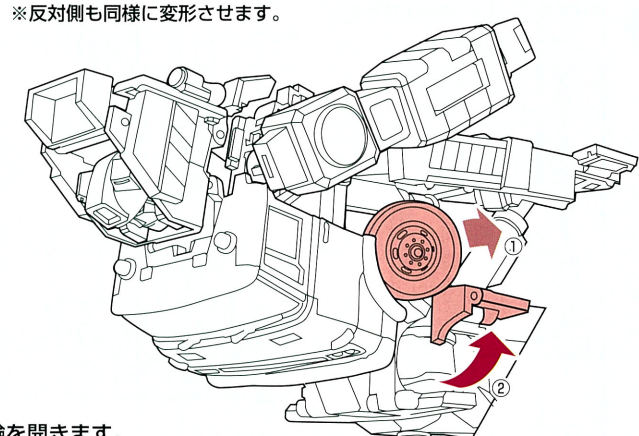
19

※反対側も同様に变形させます。



腕部を回転させ、ジョイントで固定します。

20



①前輪を開きます。
②サイドパネルを開きます。

21 後ろから見た図
※反対側も同様に変形させます。

ジョイントを外し、両脚を開きます。

22 横から見た図
※反対側も同様に変形させます。

脚部を下ろします。

23 横から見た図
※反対側も同様に変形させます。

①ブームを移動します。
②図のパーツを起こします。

24 横から見た図
※反対側も同様に変形させます。

ブーム後部を180°回転させます。
※必ずまっすぐにした状態のまま回転させてください。

25 ※反対側も同様に変形させます。

図のパーツを開きます。

26 ※反対側も同様に変形させます。

※折り曲がらない場合は、ブームが完全に収納されているか確認してください。

図のパーツを倒します。

27 ※反対側も同様に変形させます。

サイドパネルを内側に180°回転させます。

27 ※反対側も同様に変形させます。

図のパーツを閉じます。

28 ※反対側も同様に変形させます。

①図のパーツを起こします。
②図のようにパーツを変形させます。

28 ※反対側も同様に変形させます。

①図のようにパーツを変形させます。
②図のパーツを内側に折り曲げながら、胴体内へ納めます。

28 ※反対側も同様に変形させます。

図のパーツを縮めるようにして、胴体内へ完全に押し込みます。

※必ず図の位置まで完全に収納してください。完全に収納しないと、変形時に破損の恐れがあります。

29 ※反対側も同様に変形させます。

図のパーツを下ろし、背中カバーをロックします。

30 後ろから見た図
※反対側も同様に変形させます。

図のパーツ倒し、ジョイントで固定します。

30 後ろから見た図
※反対側も同様に変形させます。

ジョイント

31 横から見た図
※反対側も同様に変形させます。

①図のパーツを少し開きます。
②図のパーツを回転させます。

32 ※反対側も同様に変形させます。

図のパーツをたたみ、足の後ろにセットします。

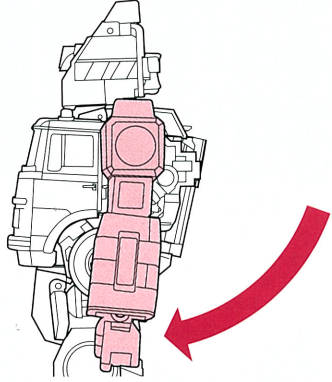
33 ※反対側も同様に変形させます。

図のパーツを足の裏に倒します。
図のパーツをたたみます。

34 前から見た図
※反対側も同様に変形させます。

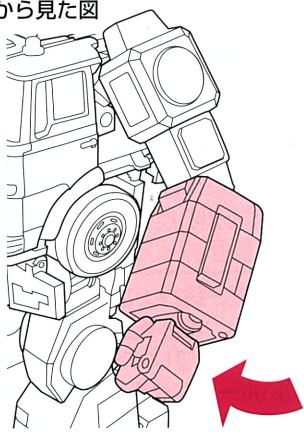
図のパーツを引き出し、回転させ収納します。
図のパーツを内側から押し出します。

35 横から見た図
※反対側も同様に變形させます。



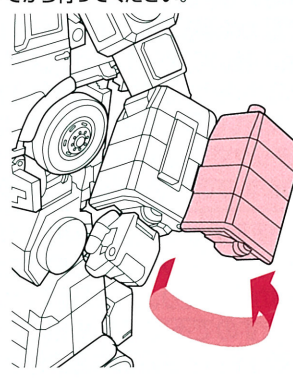
腕部を下ろします。

36 左から見た図



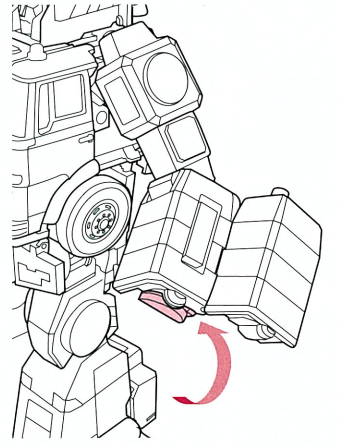
二の腕を45°ほど曲げます。

37 ※【注意】アースオーガー・ミサイルが干渉しますので
パネルを開くときは、必ず二の腕を45°ほど
曲げてから行ってください。



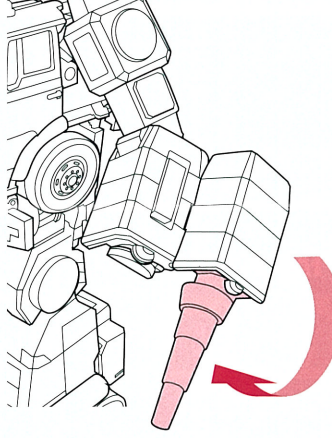
パネルを開きます。

38



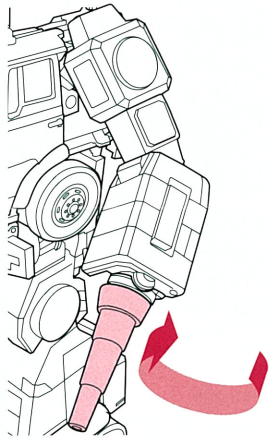
拳を収納します。

39



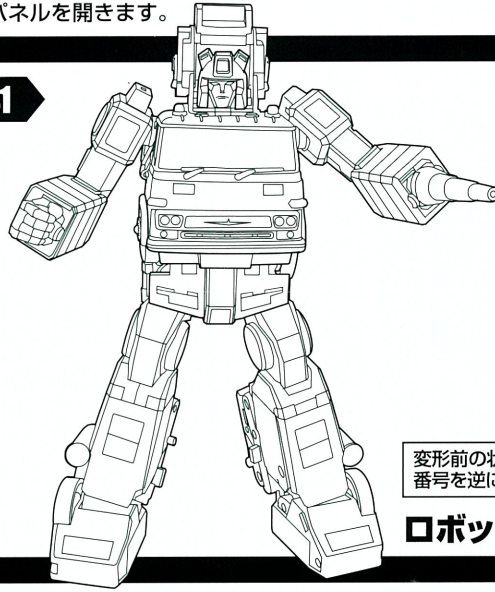
パネルを回転させます。

40



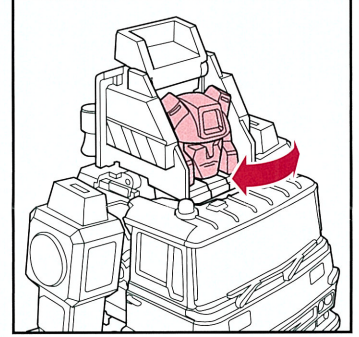
パネルを閉じます。
※36～40の工程で
反対側も同様に變形する
ことができます。

41



變形前の状態へ戻す場合は
番号を逆に戻って下さい。

ロボットモードの完成

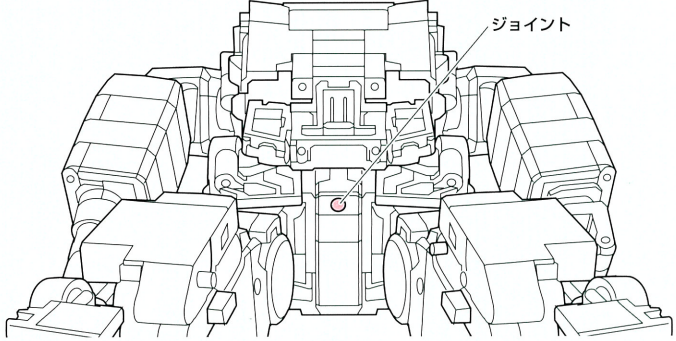


頭部は図のように回転できます。

TFパワーベース(別売)の使用

下から見た図

※転倒の恐れがあります。安定したポーズで飾ってください。

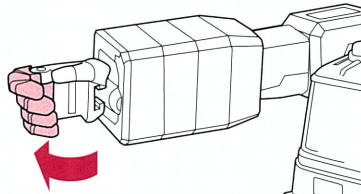


TFパワーベース(別売)を使用する場合は、図のジョイント位置にスタンドを差し込んでください。

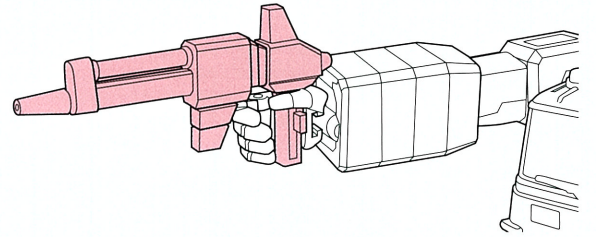
パイロフォース・ガンの装備(ロボットモード)

横から見た図

※拳を出した左手にも持たせることができます。



拳を開きます。

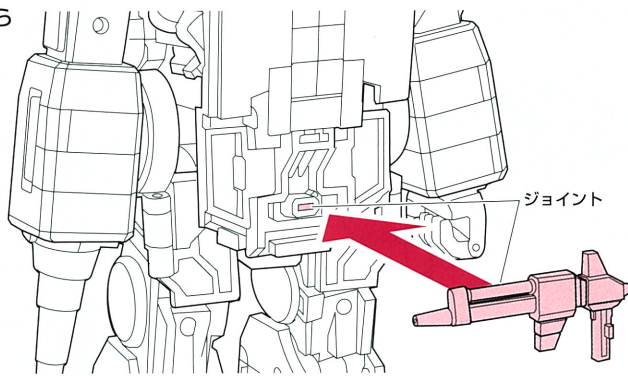


パイロフォース・ガンを持たせます。

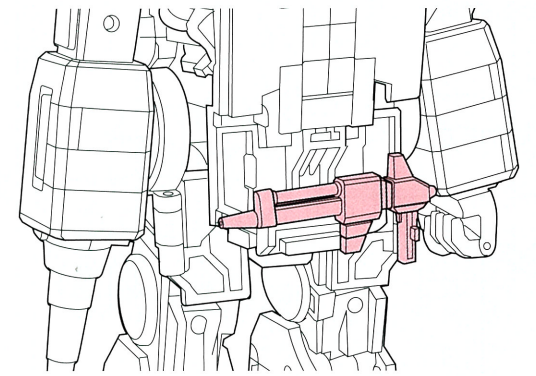
パイロフォース・ガンの取り付け方(ロボットモード)

※パイロフォース・ガンのジョイントは右側だけです。

後ろから
見た図



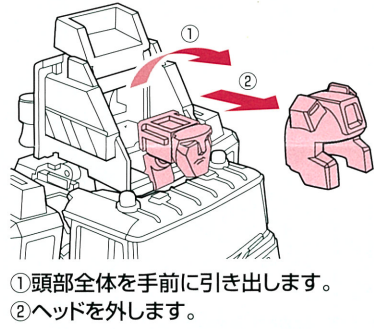
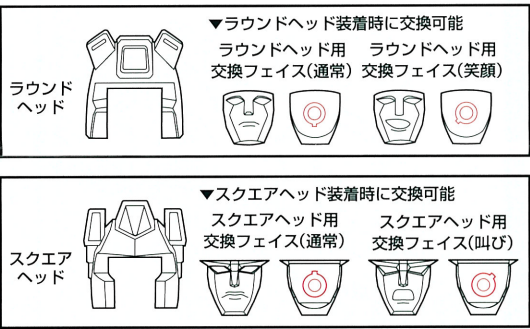
パイロフォース・ガンを背中のジョイントに取り付けることができます。



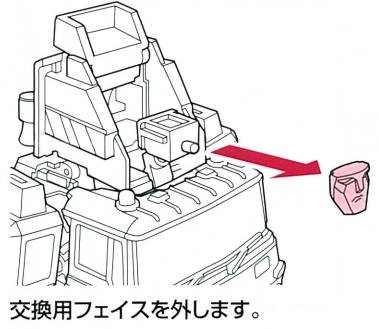
頭部とフェイスの交換

※初期状態では、ラウンドヘッドにラウンドヘッド用交換フェイス(通常)がセットされています。
※ラウンドヘッドとスクエアヘッドでは交換できるフェイスが異なります。交換用フェイスは裏側のジョイントの形状を確認し、取り付けてください。

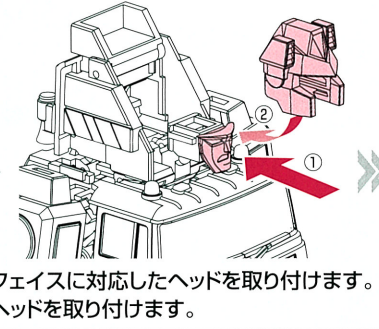
前から見た図



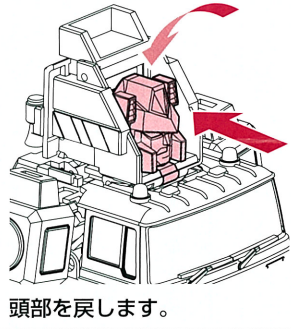
①頭部全体を手前に引き出します。
②ヘッドを外します。



交換用フェイスを外します。



①フェイスに対応したヘッドを取り付けます。
②ヘッドを取り付けます。



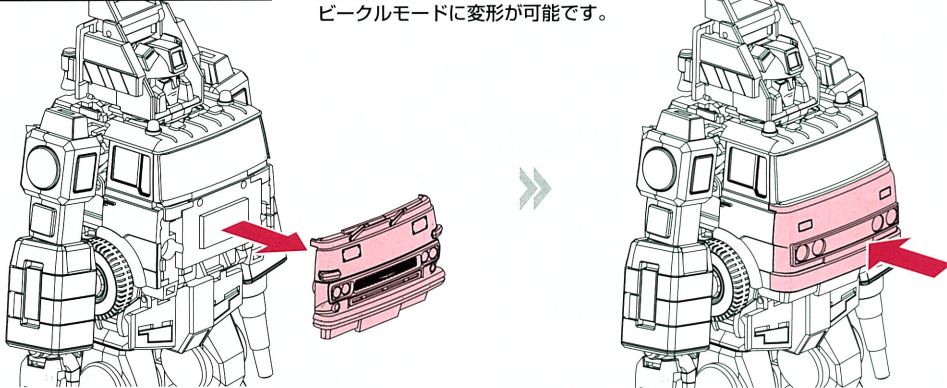
頭部を戻します。

※ビークルモードに戻す場合は、ラウンドヘッドを取り付けた状態で變形させてください。

交換用グリルへの交換

前から見た図

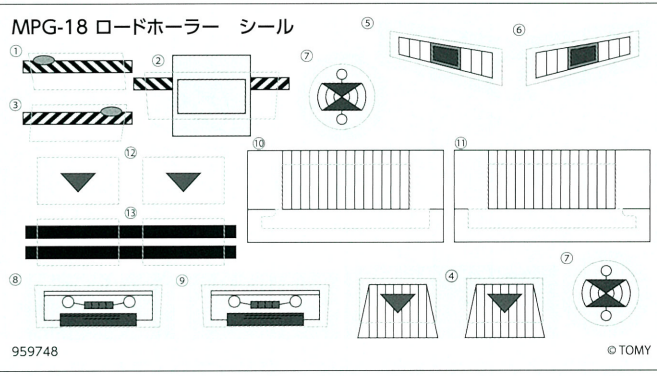
※交換用グリルは付けたままでも
ビークルモードに變形が可能です。



実車版グリルを取り外し、交換用グリルを取り付けます。

シールの貼り方

※シール①②③は実車版グリル
または交換用グリルのいずれかに貼ることができます。



左図を参考にシールを貼ることができます。

